

◎教育委員会の点検・評価結果について

1. 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条において、すべての教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、公表することとされています。

本市では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくことを目的に、「横須賀市教育振興基本計画 第3期実施計画(平成30年度(2018年度)～令和3年度(2021年度))」で示した施策体系に基づいて、「教育委員会点検・評価報告書(令和元年度対象)」を作成しました。

報告書において、前年度の施策・事業の実績から効果や課題を検証し、課題や学識経験者等の意見に対する今後の改善策を示し、次年度以降の事業に反映させています。

2. 方法

(1) 教育委員会事務局において点検書を作成

(2) 計画事業について、学識経験者から意見聴取

評価に当たっては、客観性を確保するために、外部の学識経験者から施策や事業について意見聴取を実施しました。

(3) 教育委員による点検・評価(意見交換)を実施

報告書の作成段階から教育委員の意見を反映させるため、特に課題となる以下の事業について、教育委員による点検・評価(意見交換)を会議形式により実施しました。(令和2年8月20日)

① 学力向上事業(プログラミング教育)(別冊「教育委員会点検・評価報告書」7頁参照)

② 学校いきいき事業(学校評議員制度)(同13頁参照)

③ 国際コミュニケーション能力育成事業(ALT・FLTの配置)(同18頁参照)

④ 子ども読書活動推進事業(小中学生に対する読書活動の推進)(同25頁参照)

(4) 学識経験者及び教育委員の意見を踏まえて、教育委員会事務局において評価案を作成

(5) 教育委員会定例会において、点検・評価報告書の確定

(6) 市議会報告

(7) 市民公表

3 結果（別冊「教育委員会点検・評価報告書」のとおり）

(1) 目標・施策に基づく関連事業の実施状況

区分	関連事業	行動計画	令和元年度において 計画と実績が異なる行動計画
学校教育編	76	226	4
社会教育編	61	197	2

(2) 計画と実績が異なる行動計画（別冊 113 頁～116 頁参照）

ア 学校教育編

事業名	行動計画	令和元年度		計画と実績が異なる理由
		計画	実績	
子ども読書活動推進事業	学校司書の配置	計画	拡充	中学校司書の効果的な運用の検証に時間が必要であると判断したため、平成30年度と同配置とした。
		実績	平成30年度と同配置	
中学校完全給食推進事業	中学校完全給食推進連絡協議会	計画	開催	年度末に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から会議の開催は見送った。
		実績	未開催	
	教職員研修会	計画	開催	学校現場のニーズを的確に把握した上で開催するため、平成30年度に設置した小・中学校の教職員で構成するワーキングチームにおける研修内容・実施方法の検討を継続し、令和2年度から開催することとした。
		実績	検討	
「輝け！よこすかの子どもたち（市民向け広報紙）」の発行	アンケート調査	計画	実施	新型コロナウイルスによる市立学校の臨時休業に伴い、年度末の予定だったアンケート調査の実施を見送ったため。なお、令和2年度に、あらためてアンケート調査を実施する予定である。
		実績	未実施	
小中学校適正規模・適正配置推進事業	該当地域における検討	計画	実施	全市的な教育環境の整備に向けた方策（案）の検討と土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の調査結果を考慮すべく、計画の策定を延期したため。
		実績	未実施	

イ 社会教育編

事業名	行動計画	令和元年度		計画と実績が異なる理由
		計画	実施	
史跡東京湾要塞跡活用推進事業	第1次整備工事	計画	実施	整備基本計画の策定について文化庁と協議が長引いたため、整備基本設計・整備実施設計の作成が遅れ、令和元年度は第1次整備工事に着手できなかった。(令和2年度から着手)
		実績	未実施	
レファレンスと情報提供の充実	電子書籍の導入	計画	検討結果に基づく対応	電子書籍の導入について検討した結果、新刊でのコンテンツの提供が少ないため、従来の資料に代わるような導入は難しく、当面は導入を見送り、他自治体の情報などを注視していく。
		実績	導入の見送り	

